

「京菓子司 よし廣」(京都市中京区)にて、和菓子作り体験

京菓子は和菓子的一种で、京都で修行をした職人が京都の地で作った和菓子のみが京菓子と呼ばれます。

京菓子の美しさは、職人の高度な技術はもちろん、長年の経験と繊細な感性から作られる芸術と言えるでしょう。

「京菓子司 よし廣」は京都の四季折々を五感で味わえる和菓子を、是非お土産にして持って帰って頂きたいという思いで65年前に創業。

京和菓子の歴史と伝統を受け継ぎながらも、新しい京菓子を生み続けておられる和菓子屋さんです。



当日は爽やかな秋晴れの下、50名のご父母の皆様にご参加いただきました。
今回は「練り切り」という技法で、この季節にふさわしい「柿」と「イチヨウ」をモチーフにした和菓子を作りました。



職人さんの見本

京都の伝統芸能や工芸品の職人さんは男性のイメージがありますが、「よし廣」さんには国家資格「和菓子製造一級技能士」の資格をお持ちの女性の職人さんもいらっしゃいます。

今回は、女性の職人さんの優しく丁寧なご指導を頂き、初めての方も楽しく可愛く作ることが出来ました。

使用する材料の種類や量の加減、その日の気温・湿度によって、色合い・つや・粘度など、いろいろ変化があるそうです。

「和菓子作りには化学の知識も必要」とおっしゃっていました。





「イチヨウのはずが、なぜかブロッコリーに……(笑)」

「柿っぽく見える?」「ぼかしが難しい」「意外と上出来!」「指先に指令が行かへん」
笑いと会話が飛び交います。みなさん、真剣だけど楽しそう。

間近かで見る職人の技



最後に参加者全員、無事に**修了証書**を頂き、ご自身で作った和菓子2個と、職人さんが作った和菓子2個、全国菓子博覧会において**金賞を受賞した「八つ橋饅頭」**1個の**合計5個**をお土産として持ち帰りました。

短い時間でしたが、京都の伝統文化に触れ、有意義で楽しい時間となりました。



令和五年 十月二十一日

京菓子司 よし廣

店主 水内啓介

京菓子体験
修了証書

あなたは京菓子作りを職人と共に体験し思い出に残るすばらしい作品を作られましたよってここに修了した事を証明します



さて、今回の「和菓子作り体験」は午前中に終了いたしました。ランチタイムの後、ご希望(39名)の皆さんと世界遺産の「元離宮二条城散策」を散策しました。

元離宮二条城は1603年(慶長8年)、江戸幕府初代将軍徳川家康が、天皇の住む京都御所の守護と将軍上洛の際の宿泊所とするため築城したものです。徳川家の栄枯盛衰をはじめ日本の歴史の移り変わりを見守ってきたお城です。



重要文化財「東大手門」前に集合



重要文化財「唐門」



国宝「二の丸御殿」

まずは二の丸御殿の正門にあたる「唐門」をくぐり、二の丸御殿を見学しました。二の丸御殿は全6棟の建物からなり、江戸初期に完成した住宅様式である書院造の代表例として日本建築史上重要な遺構です。江戸城、大坂城、名古屋城の御殿が失われた今日、国内の城郭に残る唯一の御殿群として国宝に指定されました。内部は、日本絵画史上最大の画派である狩野派による障壁画と、多彩な欄間彫刻や飾金具によって装飾されており、将軍の御殿にふさわしい豪華絢爛な空間となっています。また、二の丸御殿の廊下は人が歩くと鳥の鳴き声のような音になることから、「鶯(うぐいす)張り」と呼ばれています。この日は観光客が多く訪れており、広いお屋敷の廊下のあちこちから、鶯の綺麗な鳴き声が聞こえていました。



特別名勝「二の丸庭園」



「本丸庭園」



「東築地塀」



「内堀」

本丸は城の中心部にあり、内堀で守られた区域です。残念ながら、本丸御殿は保存修理工事中のため見学できませんでしたが、次は少し勉強してから来場したいとおっしゃる方もいて、「さすが！同志社大学商学部父母会」ですね。
また機会があれば、皆さんとご一緒に見学出来ればなと思います。



今年度の同志社大学商学部父母会大阪支部の支部行事はこれで終了となりますが、父母会本部行事といたしまして、
1月28日(日)に「父母のための一日大学」を開催予定です。
郵便、大学父母会Webサイト、Facebookでご案内予定です。
皆様のご参加をお待ちしております。

今後も皆様方に喜ばれる有意義な活動を行って参ります。
引き続き父母会活動にご理解・ご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

同志社大学商学部父母会大阪支部は楽しく学べて、まるで「大人のサークル」のようです。